



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファンケル
コード番号 4921 URL <http://www.fancl.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)成松 義文
問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)島田 和幸 TEL 045-226-1200
四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	21,706	△7.2	1,001	△52.9	956	△53.7	415	△48.9
23年3月期第1四半期	23,394	△2.8	2,127	18.0	2,063	14.1	813	△16.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 414百万円(△50.4%) 23年3月期第1四半期 835百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.40	6.38
23年3月期第1四半期	12.53	12.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	91,857	77,904	84.4
23年3月期	94,030	78,647	83.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 77,526百万円 23年3月期 78,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,700	△2.4	1,630	△37.0	1,630	△33.7	815	△16.5	12.56
通期	94,000	0.2	6,000	△15.7	6,000	△10.0	3,000	5.3	46.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	65,176,600株	23年3月期	65,176,600株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	291,001株	23年3月期	240,901株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	64,934,601株	23年3月期1Q	64,917,361株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報等	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による供給能力の低下・電力不足のため生産および輸出が落ち込み、さらに個人消費も弱含みとなるなど、総じて厳しい状況が続きましたが、供給面の制約が緩和されるにつれ、持ち直しつつあります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災の影響により一部キャンペーンの変更、中止を行ったことなどにより、化粧品関連事業およびその他が前年同期を下回り、全体では21,706百万円(前年同期比7.2%減)となりました。損益面では、震災直後の状況を鑑み4月に予定していた商品PRのTVCMを急遽、企業CMに差し替えたことや、ダイエットサプリメント「カロリミット」のTVCMを実施したことなどによりマーケティング費用が前年同期に比べて増加し、営業利益は1,001百万円(前年同期比52.9%減)、経常利益は956百万円(前年同期比53.7%減)、四半期純利益は415百万円(前年同期比48.9%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は11,066百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

	平成23年3月期 前第1四半期連結累計期間		平成24年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	9,441	78.4	8,762	79.2	△7.2
アテニア化粧品	2,255	18.7	1,990	18.0	△11.8
その他	349	2.9	313	2.8	△10.1
合計	12,045	100.0	11,066	100.0	△8.1

	平成23年3月期 前第1四半期連結累計期間		平成24年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	6,102	50.7	5,545	50.1	△9.1
店舗販売	4,069	33.8	3,655	33.0	△10.2
卸販売他	580	4.8	543	4.9	△6.3
海外	1,293	10.7	1,321	12.0	2.1
合計	12,045	100.0	11,066	100.0	△8.1

ファンケル化粧品は、5月に予定していた「マイルドクレンジングオイル」のTVCMや限定商品の発売を延期したことなどにより、8,762百万円(前年同期比7.2%減)となりました。

アテニア化粧品は、東日本大震災の影響でマーケティング活動を抑制したことなどにより、1,990百万円(前年同期比11.8%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は5,545百万円(前年同期比9.1%減)、店舗販売は3,655百万円(前年同期比10.2%減)、卸販売他は543百万円(前年同期比6.3%減)、海外は1,321百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

営業損益

損益面では、減収になったことおよび震災直後の状況を鑑み4月に予定していた商品PRのTVCMを急遽、企業CMに差し替えたことによりマーケティング費用が発生し、営業利益は1,282百万円(前年同期比41.3%減)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は6,778百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

	平成23年3月期 前第1四半期連結累計期間		平成24年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	2,822	42.6	2,809	41.5	△0.4
店舗販売	1,778	26.9	1,634	24.1	△8.1
卸販売他	1,373	20.7	1,608	23.7	17.1
海外	651	9.8	725	10.7	11.3
合計	6,626	100.0	6,778	100.0	2.3

製品面では、ダイエットサプリメント「カロリミット」が前年同期比で大幅に伸長したほか、中高年のお客様向けのサプリメントも堅調に推移し、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は2,809百万円(前年同期比0.4%減)、店舗販売は1,634百万円(前年同期比8.1%減)、卸販売他は1,608百万円(前年同期比17.1%増)、海外は725百万円(前年同期比11.3%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収となったものの、ダイエットサプリメント「カロリミット」に対するマーケティング費用を投下した結果、営業利益は305百万円(前年同期比50.5%減)となりました。

③ その他

売上高

その他の売上高は3,862百万円(前年同期比18.2%減)となりました。

	平成23年3月期 前第1四半期連結累計期間 (百万円)	平成24年3月期 当第1四半期連結累計期間 (百万円)	伸び率 (%)
発芽米事業	766	716	△6.5
青汁事業	968	864	△10.8
いいもの王国通販事業	1,929	1,446	△25.0
その他の事業	1,058	834	△21.1
合計	4,722	3,862	△18.2

発芽米事業は、店頭販促を強化した卸販売他が増収となったものの、通販チャンネルが振るわず、716百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

青汁事業は、通販チャンネルが振るわず、864百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

いいもの王国通販事業は、東日本大震災後に新聞広告などの出稿量を控えた影響などで、1,446百万円(前年同期比25.0%減)となりました。

その他の事業は、雑貨事業の再構築に伴い在庫品をセール価格で処分したことなどにより、834百万円(前年同期比21.1%減)となりました。

営業損益

損益面では、発芽米事業の原価率改善による黒字幅の拡大で、営業損失は前年同期に対し14百万円縮小し、179百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産は、前連結会計年度末に比べて2,172百万円減少し、91,857百万円となりました。この要因は、流動資産の減少1,447百万円および固定資産の減少724百万円であります。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の増加743百万円、受取手形及び売掛金の増加88百万円、たな卸資産の増加111百万円と有価証券の減少2,506百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、長期貸付金の減少199百万円と繰延税金資産の減少376百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,428百万円減少し、13,953百万円となりました。この要因は、流動負債の減少944百万円と固定負債の減少484百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、賞与引当金の増加469百万円と支払手形及び買掛金の減少858百万円、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少1,139百万円であります。固定負債の減少の主な要因は、退職給付引当金の減少454百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて743百万円減少し、77,904百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益415百万円による増加と配当金の支払による利益剰余金の減少1,103百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べて1.2ポイント上昇し、84.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は27,809百万円となり、前連結会計年度末より260百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は148百万円(前年同期は1,283百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益877百万円、減価償却費767百万円などによる増加と、法人税等の支払額1,531百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は607百万円(前年同期は412百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、有価証券の売却及び償還による収入1,502百万円などによる増加と、有形固定資産の取得による支出555百万円、無形固定資産の取得による支出510百万円などによる減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,062百万円(前年同期は1,004百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額993百万円、自己株式の取得による支出53百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、平成23年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,661	19,405
受取手形及び売掛金	10,187	10,276
有価証券	10,911	8,404
商品及び製品	3,090	3,200
仕掛品	33	72
原材料及び貯蔵品	3,178	3,141
その他	2,422	2,554
貸倒引当金	△189	△206
流動資産合計	48,295	46,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,183	23,229
減価償却累計額及び減損損失累計額	△12,709	△12,844
建物及び構築物(純額)	10,474	10,384
機械装置及び運搬具	5,582	5,700
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,609	△4,722
機械装置及び運搬具(純額)	973	978
工具、器具及び備品	6,210	6,479
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,182	△5,358
工具、器具及び備品(純額)	1,028	1,120
土地	10,885	10,860
リース資産	286	282
減価償却累計額及び減損損失累計額	△180	△190
リース資産(純額)	105	92
その他	85	34
有形固定資産合計	23,552	23,471
無形固定資産		
のれん	397	369
その他	3,370	3,404
無形固定資産合計	3,768	3,773
投資その他の資産		
投資有価証券	11,906	11,902
その他	6,507	5,861
投資その他の資産合計	18,413	17,764
固定資産合計	45,734	45,009
資産合計	94,030	91,857

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,367	2,508
未払法人税等	1,654	514
賞与引当金	966	1,435
ポイント引当金	1,391	1,402
資産除去債務	3	16
その他	4,759	5,320
流動負債合計	12,142	11,197
固定負債		
退職給付引当金	2,155	1,700
役員退職慰労引当金	99	104
資産除去債務	485	471
その他	500	479
固定負債合計	3,240	2,756
負債合計	15,382	13,953
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	56,069	55,381
自己株式	△306	△360
株主資本合計	78,264	77,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	3
その他の包括利益累計額合計	5	3
新株予約権	377	377
純資産合計	78,647	77,904
負債純資産合計	94,030	91,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	23,394	21,706
売上原価	8,157	7,173
売上総利益	15,237	14,532
販売費及び一般管理費	13,109	13,530
営業利益	2,127	1,001
営業外収益		
受取利息	20	17
受取配当金	8	1
為替差益	—	11
保険戻戻金	—	15
雑収入	38	30
営業外収益合計	67	74
営業外費用		
持分法による投資損失	114	—
為替差損	4	—
貸倒引当金繰入額	—	101
雑損失	12	17
営業外費用合計	131	119
経常利益	2,063	956
特別利益		
固定資産売却益	0	3
貸倒引当金戻入額	—	125
その他	0	—
特別利益合計	0	128
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	7	0
減損損失	13	11
店舗閉鎖損失	—	24
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	309	—
抱合せ株式消滅差損	—	143
その他	74	24
特別損失合計	405	206
税金等調整前四半期純利益	1,658	877
法人税、住民税及び事業税	1,009	378
法人税等調整額	△161	83
法人税等合計	848	462
少数株主損益調整前四半期純利益	809	415
少数株主損失(△)	△3	—
四半期純利益	813	415

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	809	415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	27	—
その他の包括利益合計	26	△1
四半期包括利益	835	414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	839	414
少数株主に係る四半期包括利益	△3	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,658	877
減価償却費	700	767
減損損失	13	11
のれん償却額	28	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	492	459
ポイント引当金の増減額(△は減少)	36	10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	66	△468
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	4
受取利息及び受取配当金	△29	△18
為替差損益(△は益)	15	△13
持分法による投資損益(△は益)	114	—
投資有価証券評価損益(△は益)	2	1
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	7	20
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	309	—
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	—	143
売上債権の増減額(△は増加)	88	△66
たな卸資産の増減額(△は増加)	174	△101
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△256	111
その他の固定資産の増減額(△は増加)	54	0
仕入債務の増減額(△は減少)	△504	△861
その他の流動負債の増減額(△は減少)	357	784
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△27	△9
その他	72	△0
小計	3,388	1,667
利息及び配当金の受取額	16	12
法人税等の支払額	△2,120	△1,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,283	148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△998	—
有価証券の売却及び償還による収入	1,999	1,502
有形固定資産の取得による支出	△343	△555
有形固定資産の売却による収入	0	29
無形固定資産の取得による支出	△267	△510
貸付金の回収による収入	11	0
その他の支出	△5	△10
その他の収入	17	151
投資活動によるキャッシュ・フロー	412	607

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△53
配当金の支払額	△986	△993
その他	△17	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,004	△1,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	677	△294
現金及び現金同等物の期首残高	25,010	28,070
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	34
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,687	27,809

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,045	6,626	18,672	4,722	23,394	—	23,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,045	6,626	18,672	4,722	23,394	—	23,394
セグメント利益又は損失(△)	2,186	618	2,804	△194	2,610	△483	2,127

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△483百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等にかかる費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

第1四半期連結累計期間において、閉店の意思決定を行った店舗設備について、該当資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。この減損損失に関する「化粧品関連事業」および「栄養補助食品関連事業」の情報は、重要性が乏しいため開示を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,066	6,778	17,844	3,862	21,706	—	21,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,066	6,778	17,844	3,862	21,706	—	21,706
セグメント利益又は損失(△)	1,282	305	1,588	△179	1,408	△407	1,001

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類・健康器具・家庭用雑貨の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△407百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等にかかる費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、閉店の意思決定を行った店舗設備について、該当資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。この減損損失に関する「化粧品関連事業」および「栄養補助食品関連事業」の情報は、重要性が乏しいため開示を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。